

にこ 職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であると思いますか	0%	14%	86%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、障害や人数に変化がある中、利用者の方に不自由にさせていることが多いと感じている。 ・感染症の時期には利用者通しの十分な距離が保つことが難しいと感じている。 ・クールダウンするためのスペースの確保や特性にあったスペースの確保が難しい分、パーテーションを区切りながらご利用者の特性に合わせた対応をするよう工夫するよう、継続して取り組む。
	2	職員の配置数は適切だと思いますか	14%	57%	29%	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業に比べ少人数で行うことも多く、個別に対応が必要な方についてはご希望の曜日にご利用していただくことができなかったり、そもそも受け入れができない場合もあった。 ・他の事業所と兼務している職員も多いため、少人数で対応することもありましたが、利用者増に合わせた人員の配置を検討している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされていると思いますか	14%	57%	29%	<ul style="list-style-type: none"> ・段差は少ないものの、エレベーターや多目的トイレまで距離があり使いづらいと感じることもある。 ・2階にあるため、階段を上るの必要があり、不便を感じる利用者もいる。 ・避難訓練の際も、避難口まで遠いため、避難訓練を毎月行いながら避難経路や危険個所の確認を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画していると思いますか	71%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員による目標設定を行い、年に2回面談を行い、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につながっていると思いますか	29%	71%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにより意見は反映するように努めている。 ・場所の広さなどの希望については対応が難しい状況はあるが、活動に合わせて、別の部屋を借りながら活動している。 ・実際に設備や環境については改善につながっていないことも多いと思う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開していますか	71%	14%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページで年度末に公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか	0%	57%	43%	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者からの意見を聞く機会が少ないため、機会を設けて取り入れていけるよう検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保していますか	86%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数や役職に沿った研修を行っている。 ・パート職員や限られた時間での勤務者にも参加できるような研修会の回数をもっとあればよいと思う。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成していますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング会議の他、ご家族や本人の要望や気持ちに耳を傾け、可能な範囲で対応するように心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用していますか	29%	71%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス共通のアセスメントシートを活用している。 ・様式については担当者しか関わらない。確認するのは現場職員のため、見やすさや内容については必要に応じて変更させる必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っていますか	71%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・主となるスタッフがいるが、スタッフ全体で考え、実施についても業務が偏ることなく、現場全体で対応している。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫していますか	100%	0%	0%	・内容に加えて感染症の時期を考慮した内容にしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援していますか	14%	86%	0%	・平日と過ごす時間の長さが違うことや、普段と違うご利用者との過ごす時間の中で、本人の状態像が違うことが多くある。そのため、内容については変化をさせながら対応している。 ・活動スペースが限られてしまうため、活動内容が偏ったり、ドライブが多くなってしまった。 ・協議はするが、実施までに行かないことが多かった。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成していますか	71%	29%	0%	・小集団の活動が多く個別での活動は行えていない。 ・個別の課題については盛り込むようにしているが、実際の現場の中で個別療育や支援する場所、時間の確保が難しく行うことが難しい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか	86%	14%	0%	・昼礼の時間を設け、情報共有をおこなっている。 ・業務の細かな分担までは行えていなかったため、行う活動に誰が対応するのか、明確にするよう計画を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか	0%	100%	0%	・翌日の昼礼で共有をしている。 ・連絡事項については連絡ノートを利用し、全職員に伝わる工夫をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか	86%	14%	0%	・記録の取り方については簡略化しポイントを押さえて行っている。 ・モニタリング会議前には全職員より意見を集め、支援の改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断していますか	57%	43%	0%	・様子に変化が多い利用者についてはこまめに共有を行っている。 ・個別の目標については学校や他事業所の意見などを聞きながら統一した支援が取れるよう変化をかけている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っていますか	29%	71%	0%	・必要性は理解しているが、活動が決まってしまっている場合や行うことができないこともある。
	関係機関や保護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画していますか	86%	14%	0%
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っていますか	100%	0%	0%	・こまめに連絡をとるようにしている。 ・メールを使い、学校の行事、連絡事項をもらうようにしている。 ・送迎時などには利用者についての確認事項を行っている。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えていますか	14%	43%	43%	・設備、人員配置の観点から医療ケアが必要な児童の受け入れは行っていない。 ・別棟の看護師と電話連絡をしながら、ご利用者の体調管理を行っている。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めていますか	86%	14%	0%	・必要に応じて保育園訪問を行っている。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等していますか	86%	14%	0%	・卒業間際の会議に呼ばれることが殆ど無いため移行支援会議の際には情報提供を行っている。 ・できている人もいればできていない人も多いと思う。

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか	71%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童が発達支援センターを利用していた場合は、担当指導員に助言をいただく場合がある。 ・連携の必要性は感じているが、ケースが少なく、年間を通して連絡をすることは少ない。 ・研修については行っていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、合同で夏祭りを行っている。 ・近くの子どもの家に遊びに行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加していますか	43%	57%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの連絡会議に担当者のみ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族のお迎えの時に情報共有を行っている。 ・必要に応じて時間を取って聞くようにしているが、もっとお話しがしやすくする工夫が必要と感じている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っていますか	14%	57%	43%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのアドバイスなどは行うことができていない。 ・必要に応じて聞かれたことに対してアドバイスすることはあった。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について契約の際に丁寧な説明を行っていますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前の契約時にご家族へ説明している。 ・ご利用者から聞かれたときに担当者しか知らないということが無いよう、職員でも共有する必要性を感じている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族から相談があった場合にはお話を聞くようにしている。 ・室内までお迎えに来ていただけるので、悩みや雑談などをしながらコミュニケーションを取っていると思う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援していますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は開催することができなかったが、来年度は感染症の流行状況を見ながら企画したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情については現場間でも共有を行うとともに、窓口を明確化し、保護者の対応を行っている。 ・苦情については公開はしていない。意見や要望を言っていただく機会も少ないため、会議等で伺うようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・予約表にイベント案内加えて配布している。 ・りとらふ通信や法人ホームページを通じて、お知らせや活動報告を行っている。
	35	個人情報に十分注意していますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関するものは鍵を変えて管理している。 ・ここは事務所が無く、利用者が職員の机に来て書類が見えてしまう状況もある。事務スペースと活動スペースを分けることができれば、トラブルの予防にもなると思う。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に合わせたコミュニケーションに心がけ、必要に応じて個別に時間を設け、利用者の意見をしっかりと聞くようにしている。 ・保護者の方へ連絡がつながりづらいご家庭については手紙を書くなど配慮している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っていますか	71%	14%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として、感謝祭を行ったり、福祉交流プラザのふれあいフェスタに参加している。 	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知していますか	14%	71%	14%	・感染症の時期について毎年お便りを配布しているが、防犯については整っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	100%	0%	0%	・毎月1回の事業所単独の避難訓練と年2回の福祉交流プラザの避難訓練に参加している。 ・避難訓練は行っているが、保護者への周知が不十分である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	71%	0%	29%	・特定の職員のみ研修へ参加しているが、全員ではない。 ・部内研修など中途採用の方も参加できる機会が多いと思う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載していますか	86%	14%	0%	・まず拘束しないで良い方法を学校や関係機関で考える。 やむを得ず必要な児童については計画に盛り込むことを保護者へも説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	43%	43%	14%	・アレルギーについては契約前に確認を取るようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか	0%	86%	14%	・事故報告については保管している。 ・事例集はないが、職員で昼礼や連絡ノートを使い共有している。 ・事故報告はあるが、ヒヤリハットが活用できていないため、来年度の課題として検討する。